

(公社)日本観光振興協会の概要

◆ 使命(沿革)

日本観光振興協会は、魅力ある観光地づくり、広域観光の推進、観光交流の活性化等の事業を通じて、地域経済および観光産業の発展、国民の生活や文化の向上、国際親善等に貢献し、観光立国の実現を目指す我が国の観光に関するナショナルセンターです。

平成23年に「日本観光協会」(地方自治体および観光協会等が会員)と「日本ツーリズム産業団体連合会」(航空・鉄道・旅行事業などの産業界が主体)が合体して「日本観光振興協会」として新たにスタートしました。

◆ 主な事業の紹介

① 観光人材の育成

「日本観光振興アカデミー」による各種研修・大学への寄附講義

② 魅力ある観光地域づくりの推進

「DMO推進室」によるDMOの推進支援・DMO研修の実施

③ 広域観光の推進

広域観光ルート整備・産業観光・街道観光

④ 双方向ツーリズムの推進

日台観光サミットの開催、UNWTO（国連世界観光機関）との連携、
WTTC（世界旅行ツーリズム協議会）との連携

⑤ 観光地の魅力の発信・観光需要喚起

ツーリズムEXPOジャパンの開催、「季刊 観光とまちづくり」の刊行、
観光ウェブサイト「全国観るなび」

日本版DMO推進の背景

○観光立国への課題

- ・インバウンドの地方展開と国内旅行の活性化

○世界に通用する魅力ある観光地づくり

- ・文化主導型観光開発



地域ブランドの確立・地域に根ざした観光振興策

- 持続的な観光の実現
3つの連携
 - ・産業連環—地域の稼ぐ力を強化
 - ・地域連携—広域ルートの形成
 - ・官民学協働—人材育成

- 恒常的な推進体制（DMO）
 - ・合意形成
 - ・具体的な受入商品企画
 - ・販売プロモーション